

## 2025年度 ニチキッズ山形わかば保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年1月9日（金）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月20日（金）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ」「おもいっきり学ぶ」の保育理念に則り、職員全員が子ども達一人一人の気持ちを受容し寄り添った。又、子ども達の気持ちを汲み取り、興味関心を大切にし、環境を整えながら子ども主体の保育を実践した。
子どもの発達援助	職員全員で子ども達の成長発達の為日々ミーティングの中で共有や話し合いを設けた。全職員が共通認識をし、個々の発達段階を理解しながら、その時々の子どもの想いを大切に温かい保育ができるように努めた。
保護者に対する支援	共に子育てしていこうとする姿勢を大切にしながら、保護者の気持ちに寄り添い丁寧に関わることができた。保護者から保育参加や行事に参加いただき、保育園生活の姿をご覧いただいたり、毎月のクラスだよりで日々の様子をお知らせしたりしながらより良い信頼関係の構築ができた。
保育を支える組織的基盤	保育園内の環境整備を徹底し常に適切な状態に保持し、衛生管理に努めている。職員会議内で園内研修を毎月実施すると共に、外部研修での学びを共有することでスキルアップを図った。

総評
丁寧な保育を心掛けることで一人一人を大切にするという想いが子ども達や保護者にも連絡帳の返信や送迎時のやりとりを通して伝わっていると感じている。園の保育理念や保育指針を理解し、今年度の子ども達に合った保育計画を立て取り組む事が出来た。年次の人数の差がある中で、保育の進め方を全職員で考え実践することができた。天気の良い日は戸外に出掛け、公園でおもいきり体を動かして遊んだり、四季を感じる自然物に触れたりしながら散歩を楽しむ事ができた。今後も子ども達が生き生きのびのびと生活できるように全職員で学び合いより良い保育園作りをしていきたい。次年度は、より子ども達の主体性を大切にし、環境を充実させ好きな遊びを選びながら十分に遊びこめるようにしていく。